

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年6月25日

州全域が雷雨に見舞われ、全州平均農作業可能日は4.8日であった。レッド・リバー流域では一部の穀物が冠水した。東北地区では1~5インチの降水量であった。その他の地区では1/4インチから2インチを記録している。気温は平年を多少下回った。州南中央地区に土壤水分不足が集中している。この地区の3月29日からの累計降水量は2.14インチであり平年より凡そ4.29インチ少ない。小麦の生育は多少平年（5年平均）を下回っている。7%の硬質赤色春小麦が出穂しているが、平年同期では13%である。デュラム小麦も生育は平年より遅れており、出穂は6月23日現在0%である。各柄は前週と略同様である。但し、湿潤な気象が続き、一部の圃場にサビ病の報告がある。

2002年6月23日現在

土壤水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	10	18	61	11
Last week (%)	14	17	62	7
Last year (%)	0	2	75	23
5-yr. Ave. (%)	4	11	71	14

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	6	22	64	8
Last week (%)	8	24	63	5
Last year (%)	0	5	73	22
5-yr. Ave. (%)	2	12	73	13

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	2	6	30	52	10
Durum wheat (%)	0	2	26	58	8

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat				
Jointing (%)	54	38	59	64
Boot (%)	25	9	23	33
Headed (%)	7	1	3	13
Durum wheat				
Jointing (%)	23	14	32	37
Boot (%)	7	3	8	13
Headed (%)	0	0	2	4

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

注：次週2002年7月2日の作柄レポートは休刊させていただきます。